

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国連大学の施設整備		担当部局	大臣官房国際課		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	国際課		国際課長 永山 賀久	
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国際連合大学本部施設は、平成24年5月をもって建築後20年が経過し随所に改修を要する箇所がある。このため、国際連合大学の施設を改修し、同機関を通じた事業の円滑かつ的確な実施を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	外壁(石)のシーリング改修及び外壁(石)のひび割れ補修、屋上笠木の防水改修を7工区に分割し、7年間で順次改修工事を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	28	32	29	29
		補正予算	-	0	0	0	
		繰越し等	-	0	0	0	
		計	-	28	32	29	29
		執行額	-	22	30		
	執行率(%)	-	77.9%	93.6%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	【定量的成果指標】設定は困難 国際連合大学の施設を改修することが成果目標 であり、定量的な数値は示せない。	成果実績			-	-	-
		達成度	%		-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	外壁(石)のシーリング改修及び外壁(石)のひび 割れ補修、屋上笠木の防水改修を7工区に分割 し、7年間で順次改修工事を行う予定である。活 動指標は、外壁・笠木全範囲に対する各年度修 繕実施範囲の割合とする。	活動実績 (当初見込 み)	%		8 (8)	18 (15)	- (17)
単位当たり コスト	8,700(円/㎡) (H23年度実績)		算出根拠	23年度の契約執行額(29,949千円)÷外壁修繕実施範囲(3,432㎡)			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	29百万円	29百万円				
	施設施工庁費	0.02百万円	0.02百万円				
	計	29百万円	29百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合大学本部として広く一般に利用される施設の安全を確保するために必要な改修工事であり、優先度が高い事業となっている。 ・「国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定」に基づき、日本政府が国際連合大学本部施設の修繕について責任を有している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札を行うことにより、競争性を確保し、単位あたりコストの削減に努めている。 ・改修を実施するために必要最低限の費目・使途を精査し負担を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札による請負は、経費の効率的使用の観点からも実効性が高い。 ・7年間の計画的な整備を順次実施しており、整備状況も着実に進捗している。 ・施設は国際連合大学の本部として研究・教育活動に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>今後も関係機関との連絡調整を密に行うことにより整備計画に基づく着実な事業の進捗を図りつつ、工事発注に当たっては引き続き一般競争入札を行って競争性の確保に努めるなど、本事業予算を適切に執行するように努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国際連合大学本部施設の老朽化に対応して改修工事を行うものであり、施設整備の計画性及び契約・執行手続の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：必要な施設整備を計画的に（7年間で）順次実施しているものであり、今後とも、事業規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0004

文部科学省
30百万円

〔国連大学の施設整備〕

【一般競争入札・請負】

A.(株)酒井工務店
:30百万円

〔外壁及び笠木を修繕するための修繕費。〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 株式会社 酒井工務店			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	笠木防水改修、外壁シーリング打替え等	30			
計		30	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)酒井工務店	笠木防水改修、外壁シーリング打替え等	30	3	87.3%